見本

別記第六号の三様式（第六条の二関係）
申請人等作成用１
For applicant, part 1

日本国政府法務省
Ministry of Justice, Government of Japan

在留資格認定証明書交付申請書
APPLICATION FOR CERTIFICATE OF ELIGIBILITY

<1>

写真
Photo
40mm × 30mm

法務大臣殿
To the Minister of Justice

出入国管理及び難民認定法第7条の2の規定に基づき，次のとおり同法第7条第1項第2号に掲げる条件に適合している旨の証明書の交付を申請します。
Pursuant to the provisions of Article 7-2 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act, I hereby apply for the certificate showing eligibility for the conditions provided for in 7, Paragraph 1, Item 2 of the said Act.

1 国籍・地域 Nationality/Region: ベトナム
2 生年月日 Date of birth: 19△△ 年 Year △△ 月 Month △△ 日 Day
3 氏名 Name: NGUYEN VIET NAM (Family name / Given name)
4 性別 Sex: 男 Male / 女 Female
5 出生地 Place of birth: ベトナム ハノイ市
6 配偶者の有無 Marital status: 有 Married / 無 Single
7 職業 Occupation: 溶接工
8 本国における居住地 Home town/city: ベトナム △△省 △△
9 日本における連絡先 Address in Japan: △△県△△市△△町１－１－３ 国際研修アパート２０１号室
電話番号 Telephone No.: ×××－□□□－△△△△
携帯電話番号 Cellular phone No.: □□□－△△△△－□□□□
10 旅券 Passport (1)番号 Number: G12345678
(2)有効期限 Date of expiration: 20△△ 年 Year ×× 月 Month □□ 日 Day
11 入国目的（次のいずれか該当するものを選んでください。）Purpose of entry: check one of the followings
☐ I「教授」"Professor"　☐ I「教育」"Instructor"　☐ J「芸術」"Artist"　☐ J「文化活動」"Cultural Activities"　☐ K「宗教」"Religious Activities"　☐ L「報道」"Journalist"
☐ L「企業内転勤」"Intra-company Transferee"　☐ L「研究（転勤）」"Researcher (Transferee)"　☐ M「経営・管理」"Business Manager"　☐ N「研究」"Researcher"　☐ N「技術・人文知識・国際業務」"Engineer / Specialist in Humanities / International Services"
☐ N「介護」"Nursing Care"　☐ N「技能」"Skilled Labor"　☐ N「特定活動（研究活動等）」"Designated Activities (Researcher or IT engineer of a designated org)"　☐ N「特定活動（本邦大学卒業者）」"Designated Activities (Graduate from a university in Japan)"
■ V「特定技能（1号）」"Specified Skilled Worker (i)"　☐ V「特定技能（2号）」"Specified Skilled Worker (ii)"　☐ O「興行」"Entertainer"　☐ P「留学」"Student"　☐ Q「研修」"Trainee"
☐ Y「技能実習（1号）」"Technical Intern Training (i)"　☐ Y「技能実習（2号）」"Technical Intern Training (ii)"　☐ Y「技能実習（3号）」"Technical Intern Training (iii)"　☐ R「家族滞在」"Dependent"
☐ R「特定活動（研究活動等家族）」"Designated Activities (Dependent of Researcher or IT engineer of a designated org)"　☐ R「特定活動（EPA家族）」"Designated Activities (Dependent of EPA)"　☐ R「特定活動（本邦大卒者家族）」"Designated Activities (Dependent of Graduate from a university in Japan)"
☐ T「日本人の配偶者等」"Spouse or Child of Japanese National"　☐ T「永住者の配偶者等」"Spouse or Child of Permanent Resident"　☐ T「定住者」"Long Term Resident"
☐「高度専門職（1号イ）」"Highly Skilled Professional(i)(a)"　☐「高度専門職（1号ロ）」"Highly Skilled Professional(i)(b)"　☐「高度専門職（1号ハ）」"Highly Skilled Professional(ii)(c)"　☐ U「その他」Others
12 入国予定年月日 Date of entry: 20□□ 年 Year □□ 月 Month □□ 日 Day
13 上陸予定港 Port of entry: 成田空港
14 滞在予定期間 Intended length of stay: 1年
15 同伴者の有無 Accompanying persons, if any: 有 Yes / 無 No
16 査証申請予定地 Intended place to apply for visa: ハノイ
17 過去の出入国歴 Past entry into / departure from Japan: 有 Yes / 無 No
（上記で『有』を選択した場合）(Fill in the followings when the answer is "Yes")
回数 △ 回 time(s)　直近の出入国歴 The latest entry from △△△△ 年 Year △△ 月 Month △△ 日 Day から to ○○○○ 年 Year ○○ 月 Month ○○ 日 Day
18 過去の在留資格認定証明書交付申請歴 Past history of applying for a certificate of eligibility: 有 Yes / 無 No
（上記で『有』を選択した場合）(Fill in the followings when the answer is "Yes")　回数 △ 回 time(s)　（うち不交付となった回数）(Of these applications, the number of times of non-issuance) 0 回 time(s)
19 犯罪を理由とする処分を受けたことの有無（日本国外におけるものを含む。）※交通違反等による処分を含む。
Ciminal record (in Japan / overseas)※Including dispositions due to traffic violations, etc.
有（具体的内容 Yes (Detail: ）/ 無 No
20 退去強制又は出国命令による出国の有無 Departure by deportation / departure order: 有 Yes / 無 No
（上記で『有』を選択した場合）(Fill in the followings when the answer is "Yes")　回数 回 time(s)　直近の送還歴 The latest departure by deportation 年 Year 月 Month 日 Day
21 在日親族（父・母・配偶者・子・兄弟姉妹・祖父母・叔(伯)父・叔(伯)母など）及び同居者
Family in Japan (father, mother, spouse, children, siblings, grandparents, uncle, aunt or others) and cohabitants
有（「有」の場合は，以下の欄に在日親族及び同居者を記入してください。）Yes (If yes, please fill in your family members in Japan and co-residents in the following columns) / 無 No

続柄 Relationship	氏名 Name	生年月日 Date of birth	国籍・地域 Nationality/Region	同居予定の有無 Intended to reside with applicant or not	勤務先名称・通学先名称 Place of employment/school	在留カード番号 特別永住者証明書番号 Residence card number Special Permanent Resident Certificate number
				有・無 Yes / No		
				有・無 Yes / No		
				有・無 Yes / No		
				有・無 Yes / No		

※ 3について，有効な旅券を所持する場合は，旅券の身分事項ページのとおりに記載してください。
Regarding item 3, if you possess your valid passport, please fill in your name as shown in the passport.
21については，記載欄が不足する場合は別紙に記入して添付すること。なお，「研修」，「技能実習」に係る申請の場合は，「在日親族」のみ記載してください。
Regarding item 21, if there is not enough space in the given columns to write in all of your family in Japan, fill in and attach a separate sheet.
In addition, take note that you are only required to fill in your family members in Japan for applications pertaining to "Trainee" or "Technical Intern Training".

（注）裏面参照の上，申請に必要な書類を作成して下さい。
Note : Please fill in forms required for application. (See notes on reverse side.)
（注）申請書に事実に反する記載をしたことが判明した場合には，不利益な扱いを受けることがあります。
Note : In case of to be found that you have misrepresented the facts in an application, you will be unfavorably treated in the process.

在留資格認定証明書交付申請書（別記第６号の３様式）申請人等作成用１　記載要領

全般的な注意事項
・本申請書は、入管法施行規則の別記様式として規定されているものである。 ・申請人等作成用１、２、３及び所属機関等作成用１、２、３、４の計７枚からなり、申請人毎に作成する。 ・記載すべき欄は空欄にせず、必ず記載する。 ・支援計画書、雇用条件書等の内容と齟齬がないように注意する。

該当番号	記載上の注意事項
<1>	・申請前３か月以内に正面から撮影された無帽、無背景、かつ、鮮明な写真を貼付する。 ・写真の詳細については「各種申請書に貼付する写真の規格」（P.6～P.8）を参照する。
１	・申請人の国籍・地域を記載する。 ・「台湾」は「台湾」、「香港」は「中国（香港）」と記載する。
２	身分証明書、旅券等の記載に基づき、正確に記載する。
３	・旅券に記載されているローマ字氏名をそのままの順番で記載する。旅券が未発給の場合は、旅券発給申請で用いるものを記載する。 ・漢字氏名がある場合、漢字を記載しても構わない（任意）が、その場合は、ローマ字の後に記載する。 ・中国人で漢字を記載する場合、簡体字で記載する。
４	申請人の性別について、該当するものに○を付ける。
５	国（地域）及び都市名を記載する（番地等は記載不要）。
６	申請人の配偶者の有無について、該当するものに○を付ける。
７	申請時点の職業を具体的に記載する（溶接工、大工等）。
８	国（地域）及び都市名を記載する（番地等は記載不要）。
９	本申請に関する日本における連絡先を記載する。 （例）所属機関の連絡先を記載する。
１０	・旅券の番号及び有効期限を正確に記載する。 ・申請時点で未発給の場合は、「番号」欄に「未発給」と記載する。
１１	・特定技能１号の場合、V「特定技能（１号）」欄をマークする。 ・特定技能２号の場合、V「特定技能（２号）」欄をマークする。
１２	日本への入国を予定する日付を記載する。
１３	日本に上陸する際の予定空港又は海港を記載する。
１４	特定技能外国人として滞在する予定の期間を記載する。
１５	特定技能１号の家族同伴は認められていないので、原則として「無」に○を付ける。
１６	申請人が査証（VISA）申請を予定する在外公館（日本大使館又は日本総領事館）の所在都市名を記載する。
１７	過去の来日回数と直近の出入国歴を記載する。
１８	過去の在留資格認定証明書交付回数と不交付回数を記載する。
１９	・申請人が犯罪（日本国外におけるものを含む。）を理由とする処分を受けたことがある場合は「有」に○を付けた上で、罪名及び処分内容等を具体的に記載する。なお、交通違反等による処分を含む。 ・ない場合は「無」に○を付ける。
２０	・申請人が退去強制又は出国命令を受けたことがある場合は「有」に○を付けた上で、その回数及び直近の送還歴（出国日）を具体的に記載する。 ・ない場合は「無」に○を付ける。
２１	・申請人の親族（配偶者、兄弟等）が日本に居住している場合は、その者について記載する。 ・該当者がいない場合は、「無」に○をつける。